

読んで聞かせる人への  
メッセージ

この絵本の主人公は、白血病で入院治療をがんばり、退院して元の小学校に通いながら治療を続けて病気を克服した女の子、めいちゃんです。めいちゃんは入院中から、「早くお友達がいる元の学校に帰りたい」と願い、つらい治療も頑張りました。そして、念願かなってようやく学校に戻る事ができた、というところからお話は始まります。

ぜひ、子どもたちと一緒に読んでいただき、めいちゃんの気持ちを考えていただければ幸いです。

復学—友達が温かく  
迎えてくれる(復学支援体制)

P.2~3

色々な不安を抱えて学校に戻っためいちゃん。とても楽しみにしていたけど、やっぱりドキドキします。友達が自分のことを覚えていてくれたこと、笑顔で迎えてくれたことは、めいちゃんにとって

何よりうれしいことのようにです。

髪の毛の事は、先生が事前にクラスの子ども達へ伝えていきます。

クラスの子ども達は「薬の副作用で今は髪の毛が抜けているけど、後から伸びてくること。髪の毛の代わりに帽子で頭を守っていること。」を知っているため、帽子のめいちゃんを自然に受け入れていきます。

お母さんもその様子を見て、とても喜んでいきます。

復学直後は短時間登校から始めて、感染予防に気を付ける(感染予防)

P.4~7

学校に通えるようになったからといつても、すべてが元通りというわけにはいきません。入院中は長い時間をベッドで過ごし、いためいちゃんの体力はまだ回復途中。家族や、先生、保健室の先生、そして友達みんなに支えてもらい、ゆっくりと学校生活をスタートさせます。

また免疫力が完全には回復して

いないので感染しやすい状態です。自分の身体を守るため、マスクをして登校します。学校でも、それぞれの子ども達が自分自身の感染予防を考えて、手洗いやうがい、教室内の換気をするように心がけています。

自分で出来ることを自分で考える(自己管理能力を身に付ける)

P.8~9

徐々に学校生活に慣れてくると、めいちゃんは支えられるだけではなく、自分でできることを主体的に考えられるようになります。やりたい事と、できる事が一致しなくて、もやもやすることもありますが、気持ちに折り合いをつけます。

退院後も外来での治療は続く(欠席・早退)

P.10~11

めいちゃんが元気にしていると、クラスの友達はいちちゃんが時々早退することを不思議に思っています。とても当たり前前の反応で

す。友達がたずねてくれたおかげで、めいちゃんは早退する理由を説明することができました。めいちゃんには、病院になんか行かないでみんなとお勉強したり遊んだりしたい気持ちがあるようです。

自分で髪の毛の事を友達に説明する(自己管理能力を身に付ける)

P.12~15

自分で説明できる時はいいけど、思いもよらない質問をされると答えられない時もあります。めいちゃんは入院中から脱毛したことに、とてもショックを受けていました。まだ生えそろうわない髪の毛と頭を保護するために、みんなとは違う帽子をかぶっています。そのことについて、突然たずねられて、めいちゃんはびっくりして固まってしまいました。しかし、学校につくと日頃から話を聞いてくれる保健室の先生に気持ちを話すことができました。先生とお話しする中で、ちゃんと説明したい!という気持ちが芽生えたために

ちゃん。先生はそんなめいちゃん  
の気持ちを大切に、一緒に説  
明の方法を考えてくれました。違  
う帽子をかぶっている理由を男  
子に説明して、わかってもらえ  
たと感じためいちゃんはとてもうれ  
しい気持ちになりました。

自分の体調と折り合いを  
つけながら学校生活を送る  
(自己管理能力を身に付ける)

P.16~19

学校生活にすっかり慣れると、  
自分が病気であるということをお  
忘れることも多くなります。そうす  
ると、ついつい頑張りすぎてしま  
い体調を崩してしまうこともあり  
ます。それはめいちゃんが、みん  
なと一緒にやりたい気持ち、もっ  
と挑戦したい気持ちがあつてこそ  
です。家族や先生に助けてもらっ  
ることが必要な時もあります。そ  
れは、誰だって同じ。頑張りすぎた  
あとは、からだを休めるとまた日  
常生活に戻れます。

長袖を着て、日焼けを避ける  
(抗がん剤副作用への対処)

P.17

めいちゃんは、一人だけ長袖を  
着て、ハイソックスをはいていま  
す。抗がん剤の副作用の一つに、  
手や足の裏、指先などの皮膚がひ  
りひりしたり、ちくちくする、知  
覚過敏になる、赤い斑点になる、  
むくんだり赤く腫れるなどの皮膚  
の症状があります。めいちゃんの  
様に、長袖を着て、日焼けを避け  
る必要があるお子さんもいらっ  
しゃいます。

風邪に罹らないように、  
学校を休む(感染予防)

P.20~21

白血病の治療中は、免疫力が完  
全には回復していませんので感染す  
る病気にかかりやすいです。さら  
に、風邪などをこじらせると今  
行っている外来での治療が遅れて  
しまうこともあります。インフル  
エンザやおたふくかぜなど感染力  
の強い病気が流行りだしたら予防

的に学校を休む必要がある時があ  
ります。しかし、ずっとではあり  
ません。あともう少しで治療も終  
わります。

みんなと一緒に校外学習に  
参加できる(合理的な配慮)

P.22~23

校外学習の山登りは、めいちゃ  
んがとても楽しみにしている行事  
です。体調を整えて、この日に備  
えています。しかし、めいちゃん  
はみんなと同じように長時間山登  
りが出来る体力はありません。そ  
のため、途中は車に乗せてもら  
い、最後のゴールはみんなと一緒  
にできました。

がんばった勲章  
(経験を糧にする)

P.24~26

ようやく長かった治療も終わ  
りました。入院中、点滴をするため  
に入っていた管のあとにも、「頑  
張つたしるし」だと前向きにとら  
えることができました。

周りの人への感謝の気持ちを抱き、  
将来の夢を描く(輝く未来を)

P.27~32

これまでのことを振り返り、未  
来を考えるめいちゃん。辛いこと  
がたくさんあつたけど、頑張った  
という自信と、いつも支えてくれ  
た人々への感謝の気持ちでいっ  
ぱいです。

自分と同じように病気でもがん  
ばる子どもたちを助ける、とい  
う夢や希望をもって、めいちゃん  
はまた歩み始めます。